

1 日時 令和8年2月16日(月) 13:00~15:00

2 場所 静岡県立横須賀高等学校 会議室

3 協議会 議事録(要旨)

(1) 校長あいさつ

本校校長の河西が以下を発言した。

- 本校が校外の諸先輩方の支援を受けられる有難い状況であること
 - ・様々な経験を通して生徒が成長することを重視していること
 - ・ルアンダ出身者の講話を通して平和や命について考え、同国産のコーヒーを味わう経験もした。
 - ・新企画「キャリアコネクト | on |」で事業所の方と直接対話することで職業意識を高めた。
 - ・県内産のミカンを用いて生活文化部が放課後に嬉々としてジャム作りに取り組み、地域理解につなげた。

(2) 議事(進行:会長)

議事進行は会長の司会で行われた。

ア 今年度の教育活動・生徒の状況について(副校長)

今年度の教育活動・生徒の状況について4人の分掌課長から報告があった。

(ア) 総務図書課

- ・今年度から同窓会入会式を卒業式と同じ日に実施すること
- ・PTA役員選出方法を来年度より地区別からHR毎に変更すること

(イ) 学習支援課

- ・生徒の在籍状況及び生徒異動の理由について
- ・チャイム通りの始業を徹底し落ち着いた学習環境を確保したこと
- ・個人端末の活用により学習効果が高まっていること
- ・保護者参観会を年間で2回設定しており学校公開に注力していること
- ・出席統計からは「調子が悪かったら休む」意識がコロナ禍以降浸透しているように感じられること

(ウ) 生徒支援課

- ・生徒指導件数の推移と本年度の状況について
- ・スクールカウンセラーの利用状況について
- ・問題行動を繰り返す生徒への対応が課題となっていること
- ・部活動の活動状況と加入状況について
- ・発達支持的な生徒指導の在り方が課題となっていること

(エ) キャリア支援課

- ・本年度3年生の進路状況について
- ・進路先を早期に決め、十分な準備をする必要性を感じたこと
- ・インターンシップ(2年生対象・2月の1週間)等を通して早期に進路情報を提供することで、進路意識を高めていること

- ・就職試験における適性検査への対応に注力すること

イ 学校関係者評価について(副校長)

(ア) 副校長が委員からの質問などに回答しつつ、本件の各項目評価を確定させた。委員からは以下の意見が出た。

- ・現実を見据えた良い分析がされていること。
- ・合同防災訓練は地域に根差した誇れる行事であること。
- ・合同防災訓練の目的を明確にするとよい。中学生が他の避難所でも活用できる知識や技能を身に付けられるとよい。
- ・大須賀中学校と横須賀高校の合同防災訓練は、訓練内容を事前に共有することで効果がさらに高まること。現在は中学生が高校生に教わることが中心であるため、事前に訓練内容を分担することで、中学生が主体的に訓練できるのではないか。
- ・生徒の居場所づくりについて進捗を問われ、順調であるとの回答をした。
- ・保健室の利用状況を問われ、インフルエンザの影響で例年よりも若干多めと回答した。
- ・部活動の改革状況について問われ、在籍部員数と職員数に応じた方針を定めたと回答した。

(イ) 校長が来年度の学校経営計画の策定方針に係る留意点を示した。

- ・成果目標は生徒がいかに変容したかを目指すものを中心にしたいこと（心理面や行動面）
- ・取組手段が自己目的化してしまわないように注意したいこと
- ・PDCAを意識して学校経営計画を策定しつつ、OODAループの考え方も取り入れ、年度途中であっても「よい」と思われるものを取り入れる柔軟性を持ちたいこと（例 3学期より清掃指導方法を改革中である。）

ウ 質疑応答

委員からの質問意見は、事前にいただいたもの以外は無く、全ての議事は承認された。

○ 委員の感想

- ・イエローカードの運用方法について、具体的に尋ねられた。
- ・校内に防犯カメラを設置したことで盗難等が激減したことは喜ばしいが、防犯カメラの設置は、本質的な解決策ではないとも思われる。
- ・自身も職場で人事評価をする立場にあるが、評価することは難しいと感じた。客観的に判断していきたい。
- ・自転車マナーに係る青キップの周知が進んでいることは喜ばしい。
- ・校長からもあったが、生徒を変えられるような取り組みこそ、学校がやるべきこと。子どもの変容を求めるならば、子ども自身に自己の評価をやらせてみたらよいのではないか。そのためには、子どもたちが自分の目標を持つことが必要であろう。
- ・就職の概念を見なおす必要があること（好きなことで金を稼ぐもよいし、好きなことをするために金を稼ぐでもよい。世間体を気にしないことも大切であろう。）
- ・少人数指導を行ってくれるので大変ありがたいこと
- ・企画、アイデアが豊かで、効果的に学校運営をしてくれるので有難いこと
- ・生徒に対して手厚い支援をしてきているので有難いこと
- ・保護者からの好印象のコメント紹介していただき、こちらまで温かな気持ちになったこと

- ・部活動の自由加入による影響を分析する必要がある。
- ・チームで対応することは効果的。多要素を組み合わせることで最適解が見つかる可能性があることも念頭に置くべき。
- ・恵まれた環境（地域からの支援・保護者からの支援・専門人材の支援等）を活かして頑張りたい。地域住民として支援を惜しまない。
- ・先生方がそれぞれのポジションで常に尽力していることがよくわかる。今後も宜しくお願いしたい。
- ・この報告には、これからの教育を考えるヒントが満載である。次のステップにつなげてほしい。

(3) 諸連絡（副校長）

副校長が本年度末及び来年度初めの予定を伝えた後に閉会を宣言した。

- | | | |
|---|-------|-------------------|
| ア | 3月 2日 | 卒業式（来賓として招待） |
| イ | 4月 8日 | 入学式（来賓として招待） |
| ウ | 4月 | 令和8年度の学校運営協議会について |